

ふじたに
藤谷

のりゆき
謹至 議員

幕別町における 社会教育・生涯学習について

第5期幕別町総合計画を受け、平成21年に第4次幕別町生涯学習中期計画が策定されました。私も社会教育委員として計画に携わりましたが、社会教育の範疇は非常に広く、成人、青少年家庭、人権、文化財、スポーツ、レクリレーション、公民館、図書館等多岐にわたっている。

文化の香る心豊かな学びの町づくりを目指すとき社会教育は重要な教育機関機能であり、住民の生涯学習に関する条件整備や環境整備を総合的、体系的に進めていくことが重要だと考える。団塊の世代の大量退職も既に始まっている現在においては、さらに多岐にわたる学習メニューなどを充実させていく必要がある。

そこで、以下の点について伺う。

- ①平成21年度に策定された、第4次幕別生涯学習中期計画の進捗状況は。
- ②情報の提供と、相談窓口等の体制は。
- ③学習の成果をまちづくりや地域課題解決などに活かせる仕組み作りについての方策は。
- ④社会教育、生涯学習における社会教育委員、体育指導員（スポーツ推進委員）の役割は。



ウォークラリーの様子

教育長 ①中期計画書の「第2章、社会教育の推進において」は、人間の発達段階に応じた教育や文化芸術、スポーツなどの分野において51の方策を掲げ、その内43の方策には一定の取組みがなされた。今後は、取組みが十分でない方策の対応が必要と考えている。

②生涯学習の情報提供は、広報誌やホームページ、新聞等を通して行っている。相談窓口は主に教育委員会生涯学習課、忠類総合支所の生涯学習係、幕別町百年記念ホールで対応している。

今後、講座を希望する方々のニーズを十分とらえる中で、生涯学習の充実を図りたい。

③生涯学習、社会教育の基本は「人づくり」と言われており、人と人が結びつくことによって「ネットワーク」ができ上がり、これがひいてはまちづくり、地域課題の解決につながっていくものと考えている。今後は講座に参加した方々の意向を把握するなど、まちづくりや地域課題の解決につながるような人づくりを意識して事業に取り組んでいきたい。

④社会教育委員の役割は、社会教育法の中で社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応

じ意見を述べることで、必要な研究・調査を行う、社会教育関係団体等の関係者に対し助言と指導を与えることと規定されている。

スポーツ推進委員は、今までのスポーツ指導の指導、助言のみならず、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整役としての役割が新たに加わった。

今年度からは自らが主催者として「ウォークラリー」を開催し積極的に活動している。

社会教育委員やスポーツ推進委員は生涯学習を支える両輪であり、今後も連携・協力を進める中で幕別町の生涯学習の充実に努めていきたい。

再質問 ①社会教育の推進で、どのようなものが取組み不十分なのか。

②生涯学習中期計画に係る民意の意識調査で、生涯学習を行う際の障害として、活動のための情報が得られにくいという住民が47%と高く、対策はどうなっているか。

答 ①青年教育、乳幼児教育関係の分野で、方策がまだ十分でないことを認識している。

②ホームページの情報提供について改善の余地があると考えている。内部で検討しているので、詳細な情報提供に向けて取り組みたい。